

2021年7月7日

逗子市

**新型コロナワクチンの集団接種会場において
濃度が低いワクチンを接種した疑いについて**

令和3年7月6日（火）、逗子市の新型コロナウイルスワクチン接種（ファイザー社製）の集団接種会場で、誤って既定を下回る濃度のワクチンを、最大6人に接種した可能性があることが判明しました。当日接種を受けられた皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことに、心よりお詫び申し上げます。

1. 経緯

7月6日（火）市民交流センターで行われた午後の接種終了後、液体が入った未使用の注射器6本が残ったため、使用した生理食塩水やバイアル（ワクチンが入った小瓶）の数量と突合したところ、薬剤師が、ワクチンを希釈する際に、使用済みのバイアルを希釈前と勘違いして、再度希釈した可能性が高いことが判明しました。

低濃度のワクチンを打った6人を特定できないため、接種を受けた186人全員に電話連絡及び文書で謝罪し、後日抗体検査を受けていただく予定です。なお、現在のところ健康被害の報告例はありません。

2. 原因

通常は、希釈前のバイアルと使用後のバイアルを、形状の異なるトレイに置き、作業するところ、この日は同じトレイを用いていました。

また、作業の最初に、当日使用する分の、バイアル、生理食塩水、希釈用注射器、接種用注射器の数を確認し、途中で補充することを禁止されていますが、この日は、作業の終了直前に、バイアルが1本だけ残っていたため、生理食塩水、希釈用注射器、接種用注射器を補充していました。

3. 再発防止策

薬剤師のマニュアルを改定し、手順を再徹底します。

本件に関するお問い合わせ先：

電話：046-873-1111

福祉部国保健康課 廣末・稲井 内231